

の月末、口座振替の場合は、奇数月の25日です。

便利な口座振替制度

◎金融機関で口座振替の申し込みをしていただきますと、ご指定の預金口座から自動的に水道料金を支払う制度です。

◎各取扱金融機関へ、金融機関届出印鑑と通帳を持参してお申し込みください。

【取扱金融機関】

東邦銀行、福島さくら農協、大東銀行、福島銀行、郡山信用金庫、東北労働金庫、各本店・各支店、郵便局

問

三春町企業局

水道・宅造グループ

☎ 62-2500

食品ロスを減らしましょう

日本では、年間2759万トンの食品廃棄物等が排出されています。

このうち、売れ残りや期限を越えた食品、食べ残しなど、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は643万トンとされています。

日本人1人当たりに換算すると、お茶碗約1杯分（約139g）の食べ物が毎日捨てられていることになりました。

食品ロスを削減し、ごみを減らすために、できることを今日から始めませんか。

河野広中のレリーフをご寄贈いただきました。

三春町出身の自由民権運動家、河野広中の銅像は、自由民権広場と福島県庁の2か所にあります。この銅像を制作された、彫刻家・太田良平氏（故人）の御遺族である太田光男氏より、広中肖像のレリーフ等をご寄贈いただきました。

広中没後百年も近づいており、今後、自由民権記念館の展示などで活用させていただく予定です。

問い合わせ先 歴史民俗資料館 ☎ 62-5263 FAX 62-6953



歴民コラム 三春の文化財2

「雪舟」と言えば水墨画の大家として有名ですが、「雪村」という絵師はご存知でしょうか？ 雪舟の弟子と言われた時期もありましたが、2人が活動した時期も地域も異なるため、直接の関係はなかったようです。

雪村は戦国時代に、現在の茨城県に生まれ、小田原、鎌倉、会津を遍歴し、最後は三春（現在の郡山市西田町の雪村庵）で亡くなったと言われています。

三春町で文化財に指定されている雪村の作品は、1つは福聚寺所蔵の「達磨図」、そしてもう1つは、資料館所蔵の「奔馬図」です。奔馬とは、疾走する馬のことで、軽快な筆使いによって描かれています。まほらホールの緞帳のモチーフだと言えば、思い出される方もいるかと思います。

雪村の本物の作品であれば、お宝鑑定団でも高額査定必至の代物ですが、興味深いのが伊達政宗の雪村の絵に対する関心度です。

天正15（1587）年、21歳の政宗は「鎖かたびらと雪村の絵を進呈され、鎖かたびらには大変ご満悦」だったと手紙に記しています。つまり政宗は、鎖かたびらを貰って嬉しかったけど、雪村の絵には・・・コメントなし。人の好みは今も昔も十人十色ということなのかもしれません。

資料館所蔵の雪村筆「奔馬図」は、6月14日（日）まで常設展示室で展示中です。



問い合わせ先 歴史民俗資料館 ☎ 62-5263 FAX 62-6953